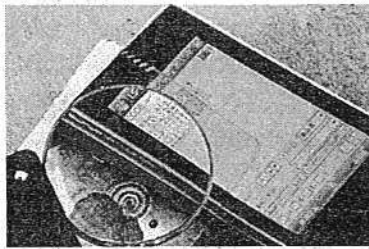


ソフトウェア開発のリムコーポレーション(浜松市、竹塚直久社長)は、スマートフォン(高機能携帯電話「スマホ」)などの液晶画面に文字を表示させる速度を従来の2倍に高めたソフトを開発した。スマホや産業機械などのメーカーに売り込む。従来型の携帯電話市場が縮小する中、新規顧客を開拓する。

液晶文字表示、2倍速く リムコーポ、処理ソフト改良

画面上で文字を小さくしても、つぶれたようにならないので読みやすい



面に映す必要がある。アルファベットに比べ、日本語は漢字、ひらがななど種類が多く、輪郭も複

スマホや産業機械向け開拓

雑で、携帯電話など小さい画面を切り替えて大量の文字を表示させるには時間がかかっていた。データ処理ソフト「RT-Engine」を改良した。従来の小型端末向けソフトに比べ、画面を切り替えてから文字が表示されるまでの時間が半分で済む。独自のアルゴリズム(計算手順)を編みだし、データ処理の効率が良くなったという。また、ソフトの容量も従来製品の3分の1程度に抑えた。(浜松)